

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	2	3
事業所等の所在地	〒181-0004 区市町村名 東京都三鷹市 町名番地下 新川6-37-1									
事業所等の延床面積	23,677.31 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有									
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分 <input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー発電設備の設置 <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー電気の受入 <input type="checkbox"/> 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	81	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	156	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	22	t
総計(④=②+③)	④	178	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	6.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)	
			⑤	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×④×44/12	
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
その他(A重油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0	
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	256,591.0	9.97	2,548.2	0.4890	125.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	63,897.8	9.28	593.0	0.4890	31.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					⑪	⑫	⑬	
その他								
水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	34,505.0			0.2660	9.2	
公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	34,505.0			0.4000	13.8	
合計						⑭	⑮	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×④とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)(係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×④とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)			
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)			
	E114	高効率パッケージの採用			
	E123	トップランナー機器の採用			

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

- ・照明器具更新時は、高効率照明器具を設置する。
- ・保温便座は、夏期は利用者が必要とする箇所以外はスイッチを切る。
- ・冷水水発生機の部品交換等修繕を順次進め、燃費の低下を防ぐ。
- ・寒暖が激しくない時期は、冷水水発生機の運転を「節約運転」モードにする。
- ・地下駐車場・更衣室等の利用者サービスに直接影響がない空間は、必要最小限の照明点灯とする。
- ・水道・電気・ガスの使用量を毎月記録し、前年度と比較する。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市北野ハピネスセンター		
事業所番号	A 1 0 3 5 - 0 0 0 1		
事業所等の所在地	〒181-0003 区市町村名 東京都三鷹市 町名番地下 北野1-9-29		
事業所等の延床面積	2,361.18 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有		
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 5 9 連鎖化事業区分 <input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー発電設備の設置 <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー電気の受入 <input type="checkbox"/> 証書による環境価値の利用		
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	46	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	89	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	89	t
二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	37.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1,000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	7,767.1	45.00	349.5	0.0136	17.4	
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	147,999.0	9.76	1,444.5	0.4890	72.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
合計					1,794.0		89.8	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	1,426.0			0.2660	0.4
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	1,426.0			0.4000	0.6
合計							0.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	C508	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
D104		空調フィルターの清掃・点検			
設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)	
			E108	高効率照明器具の採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

【目標】
1. 本事業所で昨年比約0.1%電気の使用量を削減する。
2. 本事業所で昨年比約0.1%ガスの使用量を削減する。
3. 本事業所で昨年比約0.1%水の使用量を削減する。
【対策】
1. 事業所の照明を必要に応じて間引き消灯する。
2. 空室・不在時の照明、空調を切る。
3. ウォンシュレット式便座の電源をこまめに切る。
4. 水道の使用後は必ずせんを閉める。
対策メニュー追加事項:D204

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and 2 columns. Row 1: 事業所等の名称 三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう・三鷹市社会福祉事業団. Row 2: 事業所番号 A 1 0 3 5 - 0 0 0 2. Row 3: 事業所等の所在地 〒 1 8 1 - 0 0 0 2 区市町村名 東京都三鷹市. Row 4: 事業所等の延床面積 3,483.00 m². Row 5: 所有形態 ■ 自己所有 □ 他者所有. Row 6: 報告範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他). Row 7: 報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他. Row 8: 日本標準産業分類における細分類番号 8 5 4 2 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当. Row 9: 再生可能エネルギーの利用状況 □ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 再生可能エネルギー電気の受入 □ 証書による環境価値の利用. Row 10: 前年度の報告内容からの変更点

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

Table with 2 columns and 5 rows. Row 1: 原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258) 161 kl. Row 2: 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤) 313 t. Row 3: 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥) 6 t. Row 4: 総計(④=②+③) 319 t. Row 5: 二酸化炭素排出原単位の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積) 89.8 kg-CO2/m²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 8 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量(GJ), 二酸化炭素排出量(排出係数), 二酸化炭素排出量(t). Rows include 都市ガス, その他, 電気, 合計, 水道及び工業用水道, 公共下水道, 合計.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑩とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 重点対策(対策番号, 対策名), その他対策(対策番号, 対策名). Rows include 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比), CO2排出量(総量), CO2排出量(総量), %.

6 特記事項

令和4年度の対策について
・寒暖が激しくない時期は、エアコンを停止し、喚起装置や自然喚起で対応した。
・地下駐車場・更衣室等の利用者サービスに直接影響がない空間は、必要最低限の照明点灯とした。(人感センサーの採用や点灯の間引き等)
・水道・電気・ガスの使用量を毎月記録し、前年等と比較した。
令和3~4年度
・大規模改修により空調機器を更新し、高効率機器とした。
・大規模改修により、熱交換換気装置を更新した。
・大規模改修時を中心に、照明を高効率照明器具に更新した。
対策メニュー追加:C107、E108、E109、E130、E122、E133、E124

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and 2 columns. Row 1: 事業所等の名称 三鷹市高齢者センター けやき苑. Row 2: 事業所番号 A 1 0 3 5 - 0 0 0 6. Row 3: 事業所等の所在地 町名番地下 深大寺2-29-13. Row 4: 事業所等の延床面積 1,343.70 m². Row 5: 所有形態 自己所有. Row 6: 報告範囲 建物の全部. Row 7: 報告範囲の主たる用途 事務所. Row 8: 日本標準産業分類における細分類番号 8 5 4 3. Row 9: 再生可能エネルギーの利用状況 再生可能エネルギー発電設備の設置. Row 10: 前年度の報告内容からの変更点.

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

Table with 4 rows and 3 columns. Row 1: 原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258) 40 kl. Row 2: 二酸化炭素排出量 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤) 77 t. Row 3: 二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥) 1 t. Row 4: 二酸化炭素排出量 総計(④=②+③) 78 t. Row 5: 二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積) 57.3 kg-CO₂/m².

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 10 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量(GJ), 二酸化炭素排出量(排出係数), 二酸化炭素排出量(排出量). Rows include 都市ガス, その他(灯油), その他(), その他(), その他(), 電気(一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気), その他(買電), 規則第5条の17第3項の場合のみなし値, 合計, その他(水道及び工業用水道), その他(公共下水道), 合計.

*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

*2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑪=(⑩/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 重点対策(対策番号, 対策名), その他対策(対策番号, 対策名). Rows include 組織体制の整備 (A202, A203, A204), エネルギー等の使用状況の把握 (B101, B102, B105), 運用対策 (C101, C106, C109, C114, C501, C504, C508), 設備保守対策 (D104, D106), 設備導入対策 (E101, E103).

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, ランク, CO₂削減率(前年度比), CO₂排出量(延床面積当たり), CO₂排出量(総量). Rows include 目標の有無, 目標値等(選択), その他.

6 特記事項

令和5年度の節電対策について
・空き室の消灯・使用していないコンセントを抜く。
・冷房の室温設定
・施設内の照明を、順次LEDに移行している。令和5年度完了予定。現在見積もりを取得中です。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and 2 columns. Rows include: 事業所等の名称 (中央保育園), 事業所番号 (A1035-0021), 事業所等の所在地 (〒181-0012 東京都三鷹市), 事業所等の延床面積 (1,143.65 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の一部(テナント)), 報告範囲の主たる用途 (事務所), 日本標準産業分類 (8531), 再生可能エネルギーの利用状況 (再生可能エネルギー), 前年度の報告内容からの変更点.

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

Table with 4 rows and 3 columns. Rows include: 原油換算エネルギー使用量 (34 kl), 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量 (66 t), 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量 (1 t), 総計 (67 t), 二酸化炭素排出原単位 (57.7 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 8 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量(GJ), 二酸化炭素排出量(排出係数), 二酸化炭素排出量(排出量). Rows include: 都市ガス, 燃料及び熱, 電気, 規則第5条の17第3項の場合のみなし値, 合計, 水道及び工業用水道, 公共下水道.

*1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

*2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 重点対策 (対策番号, 対策名), その他対策 (対策番号, 対策名). Rows include: 組織体制の整備 (A202, A203, A204), エネルギー等の使用状況の把握 (B101, B105), 運用対策 (C101, C109, C504, C506, C508), 設備保守対策 (D101, D103, D104), 設備導入対策 (E101, E103).

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無 (有/無), ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比), CO2排出量(延床面積当たり), CO2排出量(総量). Rows include: 目標値等(選択), その他.

6 特記事項

節電対策について園舎の壁面にゴーヤのグリーンカーテンをつくり、暑さ対策をした。
対策メニュー追加事項: D204, C117, C120, C129

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and 2 columns. Rows include: 事業所等の名称 (東部水再生センター), 事業所番号 (A1035-0017), 事業所等の所在地 (東京都三鷹市), 事業所等の延床面積 (3,586.93 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 報告範囲の主たる用途 (事務所), 日本標準産業分類 (3631), 再生可能エネルギーの利用状況 (再生可能エネルギー発電設備の設置), 前年度の報告内容からの変更点.

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

Table with 2 columns and 5 rows. Columns: 項目, 値. Rows: 原油換算エネルギー使用量 (1,194 kl), 二酸化炭素排出量 (燃料等に伴い排出される二酸化炭素の量: 2,334 t; 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量: 0 t; 総計: 2,334 t), 二酸化炭素排出原単位の量 (650.6 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 7 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量(CJ), 二酸化炭素排出量(排出係数, 排出量). Rows include: 都市ガス, その他(LPG), その他(A重油), その他(), その他(), 電気 (一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気, 夜間(22時~翌日6時), その他の買電), 規則第5条の17第3項の場合のみなし値, 合計, その他(水道及び工業用水道, 公共下水道), 合計.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 重点対策 (対策番号, 対策名), その他対策 (対策番号, 対策名). Rows include: 組織体制の整備 (A202, A204), エネルギー等の使用状況の把握 (B101, B105), 運用対策 (C101, C109, C114, C901, C904, C925), 設備保守対策 (D204, D206, D209), 設備導入対策 (E201, E203, E205, E209, E211, E231).

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 4 columns: 目標の有無 (有, 無), ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比), CO2削減率(%), CO2排出量(延床面積当たり), CO2排出量(総量), CO2削減率(t). Rows include: 目標値等(選択), その他.

6 特記事項

①エアレータの回転数制御
②空調設備及び照明機器の運転時間見直し
対策メニュー追加項目: C524, C916, D215, D216, E239

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

Table with 10 rows and 2 columns. Rows include: 事業所等の名称 (井の頭ポンプ場), 事業所番号 (A1035-0010), 事業所等の所在地 (東京都三鷹市), 事業所等の延床面積 (1,000.06 m²), 所有形態 (自己所有), 報告範囲 (建物の全部), 報告範囲の主たる用途 (事務所), 日本標準産業分類 (3631), 再生可能エネルギーの利用状況, 前年度の報告内容からの変更点.

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

Table with 2 columns and 5 rows. Columns: 項目, 値. Rows: 原油換算エネルギー使用量 (98 kl), 二酸化炭素排出量 (燃料等に伴い排出される二酸化炭素の量: 191 t, 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量: 0 t, 総計: 191 t), 二酸化炭素排出原単位の量 (190.9 kg-CO2/m²).

3 二酸化炭素排出量等の内訳

Table with 9 columns: 燃料等の種別, 推計の使用, 単位, 使用量, 係数, 熱量(GJ), 二酸化炭素排出量(排出係数), 二酸化炭素排出量(排出量). Rows include: 都市ガス, 燃料及び熱, 電気, 規則第5条の17第3項の場合のみなし値, 合計, その他.

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑩とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

Table with 4 columns: 対策種別, 重点対策(対策番号, 対策名), その他対策(対策番号, 対策名). Rows include: 組織体制の整備, エネルギー等の使用状況の把握, 運用対策, 設備保守対策, 設備導入対策.

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

Table with 5 columns: 目標の有無, ベンチマーク区分, ランク, CO2削減率(前年度比), CO2排出量(延床面積当たり), CO2排出量(総量). Rows include: 目標の有無 (有), 目標値等(選択).

6 特記事項

①水中攪拌機運転時間削減
②自動除塵機運転回数削減
③夜間電力を利用してのポンプ井水位調整
④空調設備及び照明機器の使用頻度見直し
対策メニュー追加事項: C916